

令和元年度 施策評価表

施策(章)	第4章『教育・文化・スポーツ』
-------	-----------------

まちづくりの目標	教育の充実、文化・スポーツの活性化で 所沢の魅力を高めます
分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画、第4次所沢市生涯学習推進計画、所沢市いじめ防止基本方針、所沢市図書館ビジョン、第2次所沢市子どもの読書活動推進計画、所沢市文化芸術振興ビジョン、所沢市スポーツ推進計画

基本構想で掲げたまちづくりの目標の実現に向けた主な方針

- ◆ 生涯学習の推進
- ◆ 地域とともに歩む学校づくり
- ◆ 確かな学力と健やかな心身を育む学校教育の充実
- ◆ 青少年の健全育成と子ども・若者支援の充実
- ◆ 学校施設の耐震化

基本構想で掲げた「市の課題・方向性」への取り組み状況に対する振り返り

○市民ニーズを捉えた学習情報の提供や学習事業を実施し、生涯学習環境の充実を図った。
 ○市民に役立つ情報を提供し、知的財産である貴重な資料を次の世代に伝える地域の情報拠点として、機能を十分に発揮できる種類と量の図書館資料・情報の充実に努めた。
 ○「学び創造アクティブプラン学力向上推進事業」は2年目を迎え、前年の成果と課題を踏まえ、学校・家庭・地域が一体となった取組の充実を図った。
 ○各小中学校への人的支援については、学力向上支援講師を2人、心身障害児介助員を3人それぞれ増員し、学習支援員及び特別支援教育支援員等を配置し、引き続き児童生徒の個に応じた指導の充実を図った。
 ○所沢市人権教育推進協議会との共催で、市民・市職員・学校教員等を対象に、多様な人権問題を取り扱った人権教育講座を開催した。
 ○北中小学校の防音対策として、普通教室等の復温除湿工事を行った。
 ○施設の安全上適正な管理を図るため、市民体育館のメインアリーナ床改修を行うとともに、次年度に屋内体育施設の照明器具をLEDに改修するための契約業務を行った。

評価日	令和元年8月1日	記入者職氏名	教育総務部次長 千葉 裕之
-----	----------	--------	---------------

節	目標指標	単位	〈H25〉	H30年度	H30年度
			現状値	実績	目標値
第1節 生涯学習	生涯学習推進センター主催事業参加者数	人	13,988	17,391	19,000
	生涯学習推進センターの主催事業参加者の満足度	%	90	92	100
	生涯学習推進センターの施設利用者数	人	67,865	79,415	100,000
第2節 学校教育	授業がわかりやすいと思う児童・生徒の割合	%	90(H26)	91	現状値以上
	教育センター研修会の満足度	%	72	74	76
	新体カテストにおける全種目の全国平均を上回る割合	%	51.4	56.9	56.4
	学校トイレの改修率	%	23	35	35
	特色ある私立学校の開校	-	推進(H26)	推進	開校
第3節 青少年育成	青少年の健全育成に関する施策への認知度	%	38	40	50
第4節 社会教育	市民等と協働で企画実施した事業の割合	%	53.8	64.9	59.3
	図書館の蔵書数	冊・点	892,000	978,151	912,000
	図書館の資料貸出数	冊・点	1,720,000	1,595,889	1,758,000
第5節 市民文化	芸術・文化に触れる機会への満足度	%	39.1	43.3	44.1
	ふるさと所沢に触れる機会	人	12,076	16,297	16,000
第6節 スポーツ振興	スポーツ・レクリエーション施設の利用者数	人	850,700	871,988	851,200
	スポーツを楽しんでいる市民の割合	%	49.3	49.8	54.3

第1節	生涯学習	いくつになっても気軽に学べ、学んだことを地域に活かせるまち			
基本方針	4-1-1 学習機会の充実				
	4-1-2 市民の学習と学んだことを地域に活かすための支援				
	4-1-3 学習環境の整備・充実				
	4-1-4 学習情報の収集・発信				
	4-1-5 学習資源の蓄積・活用				
関係所属	生涯学習推進センター				
施策に対する市民ニーズ(「平成30年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		172人	8.3%	29位	4位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○市民活動支援センターと連携し、市役所ロビーで「人材バンクフェア」を開催し、人材バンク制度の周知に努めた。</p> <p>○市役所の仕事の理解を深めるため「生涯学習まちづくり出前講座」を実施することで、市民の学習を進めることができた。</p> <p>◆ 平成30年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○生涯学習推進センター主催事業参加者数については、学習効果を考え定員制を設けた学級講座が中心になっているため。</p> <p>○生涯学習推進センター主催事業参加者の満足度が目標値に達しなかったが、90%を超えており、ほぼ目標を達成していると捉えている。</p> <p>○生涯学習推進センターの施設利用者数は、目標値の約80%ではあるが、近年で一番多い数値である。これまで以上に周知を図ること、幅広い世代が集まる企画・運営に取り組むことが課題である。</p>					
評価日	令和元年8月1日	記入者職氏名	教育総務部次長 千葉 裕之		
第2節	学校教育	子どもたちが生きる力を身に付け、一人ひとりの良さや可能性を伸ばせるまち			
基本方針	4-2-1 確かな学力と自立する力の育成				
	4-2-2 豊かな心の育成				
	4-2-3 健やかな体の育成				
	4-2-4 地域が信頼する学校づくりの推進				
	4-2-5 学校環境整備の推進				
	4-2-6 地域におけるネットワークの強化				
	4-2-7 教育環境の充実				
関係所属	教育総務課、教育施設課、社会教育課、スポーツ振興課、学校教育課、保健給食課、教育センター				
施策に対する市民ニーズ(「平成30年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		339人	16.4%	11位	1位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○学び創造アクティブプラン研究支援校を中心に「主体的・対話的で深い学び」を高める指導方法を研究し、市内に広めた。</p> <p>○児童生徒の学力向上と教員の負担軽減のため、移動式の電子黒板を小学校2校、中学校1校に計9台整備した。</p> <p>○健やか輝き支援室、教育センター教育相談室及び教育臨床研究エリア等において、必要に応じて市長部局や他の専門機関等と連携を深めながら相談体制の連携・充実を図り、児童生徒の悩みや不登校等の課題への組織的な対応力を高める取組を進めた。</p> <p>○老朽化した学校給食センターの再整備にむけ、事業用地を取得した。</p> <p>○地域のスポーツ関係団体と連携し、所沢市のスポーツ資源や特色を活かした「地域力活用運動好きな子ども育成事業」を実施した。</p> <p>○学校指導訪問及び教育センターでの研修会を通して、新学習指導要領実施に向けた指導・研修、学び創造アクティブプランの観点にそって指導主事が直接授業者へ指導を行い、授業改善及び教職員の資質向上を図った。</p> <p>○学校トイレ改修、校舎内装木質化改修、防音校舎改修の各事業については、夏休み期間を中心に施工を実施し、授業に支障がないよう進めることができた。</p> <p>○就学援助について、前々年度から開始した新中学1年生に続き、これまで新小学1年生の入学後に支給していた新入学生用品費を、より支給が必要な時期である入学前に支給を開始した。</p> <p>○教職員負担軽減検討委員会の実施や校務支援システム活用のより一層の促進を図るなど、教職員が子どもたちに向き合うことができる時間とゆとりの確保に努め、教育力の向上を図った。</p> <p>◆ 平成30年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○教育センター研修会の満足度について、研修内容と参加者の期待する内容との乖離が見られたため。</p>					
評価日	令和元年8月1日	記入者職氏名	教育総務部次長 千葉 裕之、学校教育部次長 戸村 達男 学校教育部保健給食担当参事 池田 隆人、学校教育部教育センター担当参事 長谷川陽子		

第3節	青少年育成	若者が自覚と責任を持ち、活躍ができるまち			
基本方針	4-3-1 地域・家庭・学校の連携強化				
	4-3-2 青少年へのサポート体制の整備				
	4-3-3 ニートや引きこもりの子ども・若者への支援の充実				
関係所属	青少年課、学校教育課				
施策に対する市民ニーズ(「平成30年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		200人	9.6%	24位	2位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○QRコードを入れた「三つ葉の提言」(概要版)を街頭啓発キャンペーン等で配布し普及に努めた。 ○「子ども・若者支援ガイド」の内容の見直しを行い、関係機関に配布するとともに、QRコードを入れた概要版を作成した。 ○青少年育成所沢市民会議や関係機関と連携して、青少年の健全育成を図るために「家庭の日」推進事業や所沢郷土かるた大会、スポーツ大会等を開催した。 ○青少年相談員によるワンバックスキーなど、青少年が自然体験や社会体験を通じて異年齢交流を図る活動を支援した。 <p>◆ 平成30年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「青少年の健全育成に関する施策への認知度」に係る目標は、街頭啓発キャンペーンの参加人数が前年度比111%と増えているにもかかわらず未達成であったことから、今後は更なる周知に努める。 					
評価日	平成元年8月1日	記入者職氏名	こども未来部次長 町田 真治		

第4節	社会教育	地域や市民が主体となり、それぞれの経験を活かし、世代を超えて協働できるまち			
基本方針	4-4-1 家庭・地域の教育力の向上				
	4-4-2 人権教育の推進				
	4-4-3 公民館機能の充実				
	4-4-4 図書館機能の充実				
関係所属	社会教育課、所沢図書館、教育センター				
施策に対する市民ニーズ(「平成30年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		107人	5.2%	39位	6位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭における教育力向上のため、家庭教育学級を開設し、保護者の学習の場を設けその活動を支援するとともに、青少年の様々な体験活動の充実に取り組んだ。 ○所沢市人権教育推進協議会との共催で、市民・市職員・学校教員等を対象に、多様な人権問題を取り扱った人権教育講座を開催した。(全12講座・参加者総計799人) ○市単独の公民館職員研修や担当者会議のほか、入間地区公民館連絡協議会の研修等を通じて公民館担当職員の人材育成に努めた。 ○公民館施設を安全かつ適正に運営するため、必要な施設修繕を行った。 ○所沢市のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるようにするために、「第3次所沢市子どもの読書活動推進計画」を策定した。 ○市民の生涯学習を支える知識と情報発信の拠点として、時代の変化に柔軟に対応し、質の高い図書館であり続けるために、「第2次所沢市図書館ビジョン」を策定した。 <p>◆ 平成30年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図書館の資料貸出数については、狭山ヶ丘分館が施設改修工事のため4か月半の間、臨時休館したこと、コンビニエンスストア図書等取次事業において、駅から近く利便性の高い店舗での取次がH30年1月にサービス終了となったことなどから、H30年度目標値に達しなかったと思われる。 					
評価日	令和元年8月1日	記入者職氏名	教育総務部次長 千葉 裕之		

第5節	市民文化	市民が「ふるさと所沢」への愛着や誇りをもって個性豊かな市民文化を育むまち			
基本方針	4-5-1 個性あふれる文化の創造				
	4-5-2 ふるさと研究を推進するための環境の整備				
	4-5-3 風土に培われた歴史と文化の伝承と発信				
関係所属	文化芸術振興課、文化財保護課、生涯学習推進センター				
施策に対する市民ニーズ（「平成30年度所沢市市民意識調査」の結果）		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		154人	7.4%	32位	5位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○所沢市民文化センターについて、指定管理者制度による管理運営を行った（指定管理者：公益財団法人所沢市文化振興事業団）。また、PFI手法を用いて実施する所沢市民文化センター改修事業について、平成30年7月3日に本事業を実施する事業者と本契約を締結し、12月10日より予定通り工事に着工した（施設休館期間：平成30年12月10日～令和2年3月31日）。</p> <p>○所沢駅東口市民ギャラリーが平成30年4月1日に開館し、その利用が開始された。初年度の利用率（利用日数／利用可能日数）は74.6%であった。（指定管理者：公益財団法人所沢市公共施設管理公社）。</p> <p>○平成29年度に策定した「文化芸術振興ビジョン」を踏まえ、同年度に設置した附属機関「文化芸術推進会議」を2回開催するとともに、文化芸術の分野が広範で多様な領域にわたり所管も多岐にわたっていることから、文化芸術に関連の深い部署の連携を強化し、本市における文化芸術を推進するため、所沢市文化芸術推進庁内連絡会議を設置し、2回開催した。</p> <p>○「文化」と「航空発祥」の2つのテーマをもとに毎年春に開催している「市民文化フェア」を、「フランス航空教育団来日100周年記念イベント」と同日に開催した。</p> <p>○ふるさと応援寄附に文化財を保存・修理する事業を盛り込み、財源確保に努めた。</p> <p>○県指定史跡「滝の城跡」などの発掘調査を進めるとともに、膳棚遺跡出土縄文土器及び土製品の文化財指定を行った。</p> <p>○文化財展の開催、文化遺産案内マップの改訂、民俗資料館・小野家住宅・秋田家住宅の公開などにより文化財保護の普及啓発を進めた。</p> <p>○生涯学習推進センターふるさと研究エリアにおいて、市民学芸員（市民ボランティア）の協力を得て、ふるさと研究に関する講座や、収集資料を活用した企画展示や体験学習会を開催した。</p> <p>◆ 平成30年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○芸術・文化に触れる機会への満足度については、目標値には僅かに及ばなかったが、昼間時の現存者が多いと思われる70歳以上の方や専業主婦の方などの満足度は5割超えていることから、文化芸術に係る取組の更なる充実と周知を図る。</p>					
評価日	令和元年8月1日	記入者職氏名	市民部次長 大館 真哉、教育総務部次長 千葉 裕之、教育総務部文化財保護担当参事 肥沼 位昌		

第6節	スポーツ振興	市民が手軽にスポーツを楽しみ、健康長寿になれるまち			
基本方針	4-6-1 スポーツ施設の整備・充実				
	4-6-2 スポーツ事業の充実				
	4-6-3 スポーツ指導者の充実				
	4-6-4 自主的なスポーツ・レクリエーション活動の支援				
	4-6-5 スポーツを通じた健康づくり				
関係所属	スポーツ振興課				
施策に対する市民ニーズ（「平成30年度所沢市市民意識調査」の結果）		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		199人	9.6%	25位	3位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○施設の安全上適正な管理を図るため、市民体育館のメインアリーナ床改修を行うとともに、次年度に屋内体育施設の照明器具をLEDに改修するための契約業務を行った。</p> <p>○平成30年12月2日（日）、メットライフドームにおいて「第29回所沢シティマラソン大会」を開催した。当日の総出走人数は、5,128人。</p> <p>○スポーツ推進委員によるスポーツ指導・普及とともに、親子を中心としたスポーツ教室や市民を対象としたスポーツ大会を開催した。また、新規大会として「ラケットテニス大会」を開催した。</p> <p>○平成29年に、所沢市民体育館がナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設（ゴールボール）の指定を受けたことにより当該施設の環境整備や関連施設の情報収集および情報発信を行った。</p> <p>◆ 平成30年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○スポーツを楽しんでいる市民の割合について、市民意識調査の集計結果から、30代から50代の女性の割合が他と比べて少ないことがわかる。一人ひとりのライフステージ等に応じたスポーツの楽しみ方を情報提供していく必要があると考えられる。</p>					
評価日	令和元年8月1日	記入者職氏名	教育総務部次長 千葉 裕之		